

日本各地で国際的活動を行う皆様を支援するメールマガジン

グローバル通信11月号

外務省地方連携推進室

第189号 令和6年11月

外務省地方連携推進室

運営ホームページ

[グローバル外交ネット](#)を

ご覧下さい!!



外交実務研修員研修（日本政府観光局）



研修風景



質疑応答の様子



記念撮影

9月30日、「令和6年度外交実務研修員研修」として、外交実務研修員が日本政府観光局（JNTO）を訪問し、「訪日インバウンドの最新動向」についての講義を受けました。今回の講義によって、インバウンドの動向への理解を深めるとともに、今後も日本各地の魅力を発信し、インバウンド観光を促進させていくことの重要性を改めて実感しました。

[【外交実務研修員研修（日本政府観光局）】の詳細](#)

大分市とアベイロ市の姉妹都市提携45周年



姉妹都市提携45周年記念式典の様子



ショッピングモールOITA



大分シンフォニック・ウインド・オーケストラの演奏

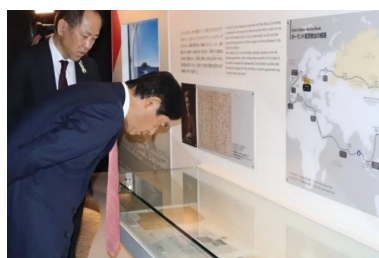
大分市とポルトガルの中部に位置するアベイロ市は2023年に姉妹都市提携45周年を迎え、2024年7月アベイロ市にて周年記念式典が開催されました。太田駐ポルトガル大使は、本式典に参加し、清水大分市副市長及びエステヴェスアベイロ市長と意見交換を行いました。本稿では、ポルトガルのベニスと呼ばれるアベイロ市と大分市の繋がり、記念式典の様子をご紹介します。

[【大分市とアベイロ市の姉妹都市提携45周年】の詳細](#)

日本とポーランドの地方自治体交流「友情の花咲く二つの国」



米澤敦賀市長表敬



人道の港敦賀ムゼウム視察



馳石川県知事及び村山金沢市長表敬

日本とポーランドの交流の歴史は、約100年前のシベリアにおけるポーランド人孤児（以下「シベリア孤児」）救済以来、連綿と続いています。宮島駐ポーランド日本国大使は2024年7月、シベリア孤児を迎え入れた最初の場所である福井県敦賀市を訪問し、人道の港敦賀ムゼウム等を訪問したほか、石川県も訪問し馳石川県知事や村山金沢市長と意見交換を行いました。

[【日本とポーランドの地方自治体交流「友情の花咲く二つの国」】の詳細](#)

クヌッセン機関長の勇気が世代を越えて繋ぐ 日本とデンマークとの深い絆



クヌッセン機関長のお墓に献花する本使



2024年3月の日高高校とフレデリクスハウen高校との学生交流の様子
(写真提供:日高高校)

姉妹都市提携50周年を迎えた ドイツ・リュネブルク市との友好の絆



昭和49年4月 リュネブルク市で姉妹都市提携盟約書に調印



50周年記念確認書を手にするカーリッシュ市長と泉市長



第24回鳴門市姉妹都市親善使節団 リュネブルク市庁舎前で記念撮影

北 欧の国デンマークは、世界幸福度ランキング上位の国、また作家アンデルセンや玩具メーカー「レゴ」などで知られる国です。両国の外交関係は、1867年最後の将軍・徳川慶喜によるデンマークとの修好通商航海条約の締結に始まり、以降世界でも歴史の長い皇室・王室を有する国として友好協力関係を育んできました。今回は、日本とデンマークの海にまつわる特別なお縁、和歌山県とユトランド半島北部のフレデリクスハウen市との交流についてご紹介したいと思います。

[【クヌッセン機関長の勇気が世代を越えて繋ぐ日本とデンマークとの深い絆】の詳細](#)

徳 島県鳴門市と、ドイツ北部に位置するリュネブルク市は、本年、姉妹都市提携50周年を迎えました。最初の使節団がリュネブルク市を訪問してから、使節団員として互いの街を歩き来した両市民の数は、延べ1,600人以上。両市民の間には、たくさんの友情が生まれ、年を追うごとに両市の絆は深まっています。本稿では、2024年8月、鳴門市長をはじめとする使節団51人が、リュネブルク市を訪問した模様をご紹介します。

[【姉妹都市提携50周年を迎えたドイツ・リュネブルク市との友好の絆】の詳細](#)

(注)次回配信は2024年12月2日の予定です。グローバル通信に是非ご登録下さい。
登録は[メールマガジン「グローバル通信」](#)より「メールアドレスの登録」をクリック！
ご意見やご質問は gaimu-renkei@mofa.go.jp までお願いいたします。

